

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： ピロリ陰性時代の十二指腸潰瘍の検討

### 研究の目的

十二指腸潰瘍は、胃潰瘍とともに消化性潰瘍のひとつです。十二指腸潰瘍は、消化管出血の原因となり吐血や下血により救急搬送される症例も多くみられます。以前より十二指腸潰瘍の主な要因は、ヘリコバクターピロリ感染とされてきました。近年では、ヘリコバクターピロリの除菌療法が普及し国内の感染者数は低下しています。そのため以前に比べて胃潰瘍の症例は明らかに減少しました。一方で、十二指腸潰瘍の症例は以前より減少傾向ではありますが、一定数の患者がおられます。当院は高度医療機関であり、小児疾患や自己免疫疾患、他臓器癌、多剤服用者など重篤な基礎疾患をもつ患者様が多いこともその要因と考えられます。しかしピロリ陰性時代における十二指腸潰瘍の現状に関する報告は少なく、その疾患背景の詳細は不明です。

そのため当院における十二指腸潰瘍患者の臨床的背景を検討することとし、今後の十二指腸潰瘍の予防や対策を検討することとしました。

研究実施期間： 実施許可日 ~ 2028年03月31日

対象となる方： 2020年1月1日から2025年12月31日までの期間、当院にて内視鏡検査を施行し十二指腸潰瘍と診断された患者様。

### 利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

本研究では、電子カルテ内から対象となる方の情報(性別、年齢、飲酒歴、喫煙歴、基礎疾患、内服薬、ヘリコバクターピロリ感染歴、内視鏡検査結果)を利用します。この利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)、行います。

本研究では十二指腸潰瘍の要因となりうる因子(基礎疾患、内服薬など)を特定し、今後の十二指腸潰瘍予防や適切な対策を検討します。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

|       |  |
|-------|--|
| 本件連絡先 | 弘前大学大学院医学研究科 地域医療学講座 菊池英純<br>連絡先電話番号：0172-39-5053<br>E-mail: hidezumi@hirosaki-u.ac.jp |
|-------|--|